

④ 道徳教育実践講座

道徳教育に係る学習指導要領の一部改正に伴い、これまでの「道徳の時間」は、「特別な教科道徳」として新たに位置付いた。

そこで、教材研究やねらいにせまるための発問等、教員の道徳における実践的な指導力向上のための講座を3回シリーズで実施した。

第1回 平成28年7月26日(火)

講師 伊丹市教育委員会事務局 学校指導課 吉本 潤 指導主事

演題 『特別な教科 道徳』に向けて
～教科化によって変わること、変わらないこと～

【内容】

- 1 なぜ教科化なのか
 - (1) 背景
 - (2) 学校での今後のスケジュール
- 2 変わること…
 - (1) 教科書について
 - (2) 評価について
- 3 変わらないこと…
 - (1) 道徳教育の進め方について
 - (2) 目標について
 - (3) 年間授業時数について



4 内容項目

「特別な教科 道徳」内容項目一覧表をもとにグループワークを行い、キーワードとなる言葉を再確認した。

5 まとめ

第2・3回 平成28年8月1日(月)

講師 日本道徳教育学会近畿支部 支部長 行本 美千子 氏

題材 「道徳科の授業の在り方、進め方①②」

【内容】

- 1 指導資料「『特別な教科 道徳』の全面実施に向けて」を活用して
 - (1) 道徳的価値の自覚の構図
 - (2) 教材分析シートを使った教材研究
 - (3) グループによる模擬授業
- 2 ねらいにせまるために
 - (1) 中心発問の重要性
 - (2) 対話する（受容する・さらに問う（問い返し））
- 3 主な教材（資料）
 - (1) ブラッドレーのせい求書
 - (2) ヒキガエルとロバ
 - (3) 手品師
 - (4) 一冊のノート
 - (5) ネパールのビール

